

第2章 春日井市の沿革

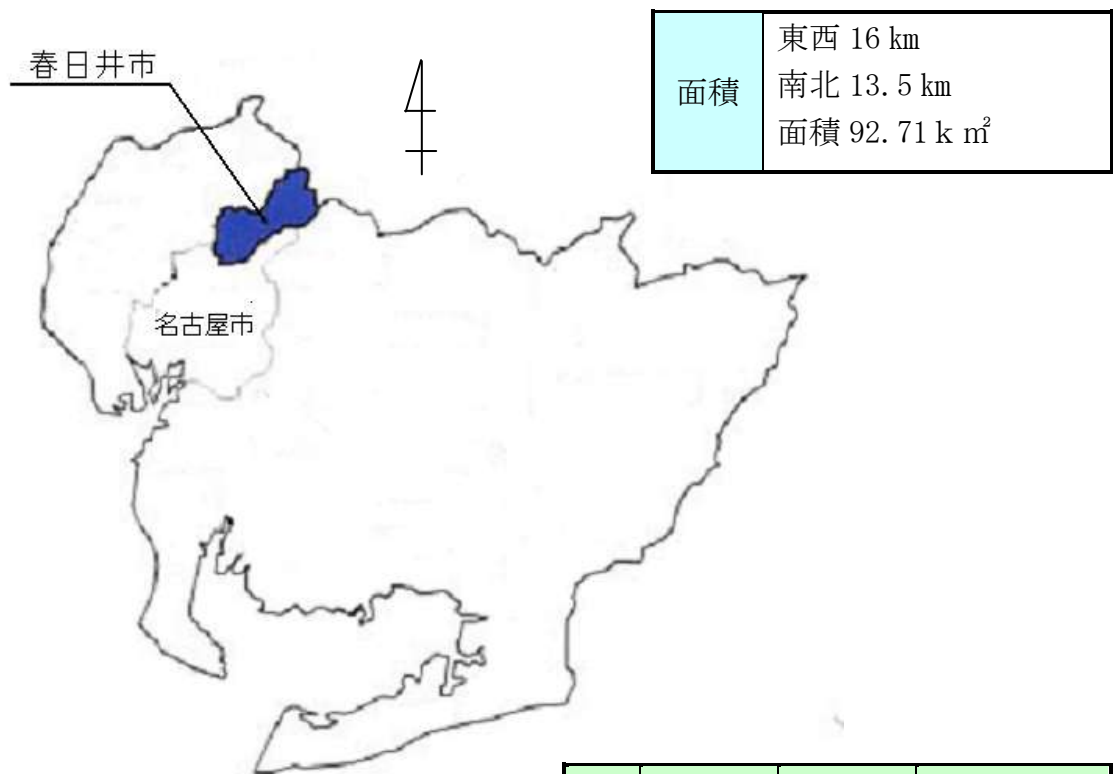
1 春日井市の概要

本市は、昭和18年6月に勝川町、鳥居松村、篠木村、鷹来村の4か町村の合併により誕生し、昭和33年1月には高蔵寺町、坂下町の2町が合併して現在の市域となりました。

市内には、東名高速道路、中央自動車道、名古屋第二環状自動車道の高規格幹線道路のほか、東西に国道19号、南北には国道155号、南部には国道302号が走っています。

また、市内を走るJR中央本線、名鉄小牧線、愛知環状鉄道、TKJ城北線の4鉄道には合計11の駅があり、さらには県営名古屋空港にも隣接しています。

このような交通至便な立地条件のもと、名古屋市に隣接した本市では、土地区画整理事業による都市基盤整備を推進し、現在は人口約30万人を有しています。



年度	人口	世帯数	一世帯当り人口
22	307,718	125,424	2.45

2 清掃事業の沿革

本市のごみ減量・資源化の推進に係る施策及び施設整備にかかる主な清掃事業の沿革については、次のとおりとなっています。^{注2-1)}

ごみ減量・資源化等の施策	開始年月
・資源回収団体奨励金交付制度実施	昭和56年 6月
・粗大ごみ各戸別収集開始	昭和61年 4月
・危険ごみ収集開始	平成 3年 4月
・資源分別収集開始（坂下地区）順次地区拡大	平成10年 5月
・粗大ごみ有料化	平成13年 4月
・家電リサイクル法施行	平成13年 4月
・ごみ処理手数料改定（41円/10kg→80円/10kg）	平成13年 6月
・燃やせるごみ祝休日収集開始	平成14年 4月
・燃やせないごみ・危険ごみ祝休日収集開始	平成14年10月
・資源分別収集市内全域実施	平成14年10月
・廃食用油拠点収集開始	平成15年 6月
・雑がみ収集開始	平成18年 1月
・燃やせないごみ・燃やせるごみ指定ごみ袋導入	平成19年 2月
・家庭用生ごみ処理機購入補助制度再開	平成20年 7月
・レジ袋有料化	平成21年 4月
・プラスチック製容器包装分別収集試行（モデル地区）	平成22年10月
・ごみ処理手数料改定（80円/10kg→200円/10kg）	平成23年10月
施設整備	開始年月
・神屋最終処分場竣工	昭和59年 3月
・ごみ処理施設第1工場竣工	平成 3年 2月
・内津最終処分場竣工	平成11年 3月
・神屋最終処分場閉鎖	平成12年 3月
・ごみ処理施設第2工場竣工	平成14年 9月
・灰溶融施設竣工	平成14年 9月
・エコメッセ春日井開設	平成14年10月

注2-1) 沿革の詳細は、資料編表-1 から表-5 に示します。